

就職と進学に関する懇談会：先進工学部からのご挨拶

先進工学部長 今村保忠

昨年からの COVID-19 感染症のパンデミックは、社会に大きな影響を及ぼしている最中です。この懇談会もオンラインで実施されることになりました。余儀なくされたことではありますが、新しい試みに挑戦するよい機会と捉えていきたいと思っています。本日の懇談会は、学生の就職と進学についてのものです。現状を理解いただき、意見交換するよい機会として、活用していただければと存じます。

後援会の皆様は、状況に対応しさまざまな試みに取り組んでこられ、会を維持発展させるべく運営に腐心されてきましたことに、心より感謝いたします。後援会による父母懇談会は、昨年は秋に実施されました。私は副学長として、学長の挨拶文を携えて支部での会に参加させていただくこともありました。学生の勉学が大きく制限を受けている中、ご父母の皆様からさまざまな声をお聞きしておりましたが、就職や進学に関する質問も少なくはありませんでした。

先進工学部では、卒業予定者は、314名です。内定率は、昨年同時期に比べ数ポイントの上昇があり、例年より真剣に取り組んだ様子が窺えます。大学院への進学率は予定を含めると約3割になっています。就職と進学の両方については、例年通り、あるいはそれ以上に推移している判断しています。就職に関して、来年度は社会全体の活動が停滞することで就職環境も不良が見込まれますので、細心の注意を払っているところであります。企業の採用活動はオンラインで実施されるところが多く、本学の支援や相談の窓口は状況に適切に対応していると聞いています。

先進工学部は、生命化学、応用化学、環境化学、応用物理および機械理工の5学科より構成されており、先進的な学術研究に基づく、教育および産学連携を行う学部です。「工学の新しいカタチ」として、境界領域や融合領域に強い人材の輩出を目指しています。先進工学部ができて6年目で、この3月には大学院修士課程を卒業する学生を迎えます。2019年度には航空理工学専攻と宇宙理工学専攻が加わり、2020年度よりスタートした大学院接続コースと併せ、さまざまな分野を指向しつつも、より深く探究することに興味を持つ学生を積極的に受け入れています。

学部では、昨年第7回 Innovation Forum of Advanced Engineering and Education (IFAEE-7) をオンラインで開催いたしました。このフォーラムでは、これまで「産学連携」というキーワードで、様々な試みを行なってきました。2020年度には、八王子商工会議所を中心とした連携に加え、本学同窓会である工学院大学校友会にもご協力いただきました。学部のショーケースとして、学科毎のセッションの分かれ、研究室の紹介や、学外へも貸し出し可能な機器の紹介をしています。インターネットを利用することで、さらに広く発信することが可能となり、後援会や高大連携関係者へとお声がけさせていただきました。全体で300名をこす参加者があり、一定の盛況はみたと思っています。

工学院大学は、研究力の高さが世界的にも評価されつつあります。中でも先進工学部では、それぞれの学科および教員が先進的な学術研究を基にした、教育および産学連携をめざして日夜努力しております。学部での活動についてご理解いただき、今後ともご支援をいただけますようお願いいたします。